

環境マネジメントシステム導入報告書

(宛先) 京都府知事 様	平成23年7月11日
住所(法人にあっては、主たる事務所の所在地) 滋賀県彦根市小泉町31番地	氏名(法人にあっては、名称及び代表者の氏名) 株式会社 平和堂 代表取締役社長 夏原 平和

環境マネジメントシステムの名称	ISO14001:2004
適用範囲	株式会社平和堂アル・プラザ醍醐 ほか13店舗
導入年月日	2002年7月12日
認証番号	JQA-EM2493
基本方針	私たちは、お客さまのご満足度向上をめざし、安全で安心な商品やサービスの提供を行うとともに、地球環境保全のために自ら責任を持ち、全社をあげて取り組んでいきます。さらにお取引先や地域社会とのコミュニケーションを重視した環境保全活動を進めることで持続可能な循環型社会形成に寄与していきます。
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標(以下「目標」という。)	平成22年度環境目的・目標 環境配慮商品の販売拡大 60億円、 一次エネルギー・水道使用量の削減 原単位1%、 お買い物袋持参率 56%、 CO2排出量の削減 2002年度対比15%削減、 食品リサイクル率の向上 50%、 平和堂エコピースクラブの拡大 実施回数50回、 平和の森づくりの推進 4地域へ拡大
目標を達成するための取組の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・環境セレクト商品の販売拡大・POP訴求・協賛企画化・ポスター作成 ・節電・空調点検の徹底、温度管理表管理、省エネ設備への入替 ・お買い物袋持参運動の推進・ポスター作成・店内7ナウズ・キャンペーン実施 ・省エネ設備入替・エネルギー転換 ・生ゴミ分別回収リサイクル店舗の拡大、リサイクル業者の選定 ・小学校へ7ナウズ強化、案内パンフ改訂、実施プログラムの見直し ・新森づくり地域の選定・東海エリア追加
目標を達成するための取組の進捗状況	環境マネジメントプログラムに基づき、上記取組内容を実施。 取組内容の変更はなく、達成が難しい状況の目標については不適合として是正・予防措置を講じて改善に取り組み進めた。
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	平成22年度環境目的・目標の結果 環境配慮商品の販売拡大 71億円○、 一次エネルギー原単位0.06%増加×、水道2.4%削減○ お買い物袋持参率 55%△(未達成だが改善)、 CO2排出量の削減 2002年度対比24%削減◎、 食品リサイクル率の向上 48%△(未達成だが改善)、 平和堂エコピースクラブの拡大 実施回数62回◎、 平和の森づくりの推進 4地域へ拡大○
事業活動に係る法令の遵守の状況	10月に全店舗で環境法規制等の自主点検を実施。 直近までの届出・報告書類等の状況確認、法定測定の実施及び基準地内の結果の確認を実施。 省エネ法改正に伴う報告等届出も早期に完了、その他家電リサイクル法の立入検査結果も問題なし。容リ法・食リ法の定期報告についても内容ともに問題なし。 各地域の条例対応についても調査確認の上、対応済みを確認。
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	マネジメントレビューについては毎年1月に、社長へ1年間のEMSの進捗状況を報告し実施している。 レビューの結果、目的・目標について3年間の中期計画が終了し、次の3年間について取組項目の絞り込みを行い、確実に成果を上げること。お買い物袋持参率についてお客様の環境意識向上を進め60%への体制強化。エコストアへの取組を計画的に進めること。EMSの運用の効率化を図り、店舗の負担軽減。 以上のトップから指示を受け平成23年度の運用に繋げている。

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムの内容について第三者の認証を受けている場合のみ記入してください。